

# 第26回日本嗜癮行動学会札幌大会

## 市民公開講座Ⅰ 2015年11月1日(日) 9時30分～12時30分

場所：札幌コンベンションセンター特別会議室

### 映画「トークバック」上映 と 坂上監督によるトークセッション

定員300名 参加費2,000円



坂上香 プロフィール

ドキュメンタリー映画監督、NPO法人out of frame代表、一橋大学客員准教授。  
1992年、ピッツバーグ大学社会経済開発学MA取得。テレビ番組制作から、京都文教大学、津田塾大学での専任教員を経て現在に至る。暴力の後にいかにか生きるかがテーマ。  
2007年以降、薬物依存症の女性や子どもたちと表現ワークショップを定期的に行っている。

監督作品：「Lifers ライファーズ 終身刑を超えて」、「トークバック 沈黙を破る女たち」。  
主な著書：『癒しと和解への旅』（岩波書店）、『ライファーズ 罪に向きあう』（みすず書房）。

## 市民公開講座Ⅱ 2015年11月1日(日)14時～15時30分

場所：札幌コンベンションセンター特別会議室

### 斎藤 学 講演会「映画に見るセックスとアディクション」

定員300名 参加費1,000円



斎藤先生 略歴

1941年東京都生まれ。1967年慶應義塾大学医学部卒。同大学助手、フランス政府給費留学生、国立久里浜病院精神科医長、東京都精神医学総合研究所副参事研究員（社会病理研究部門主任）などを経て、1995年9月より、家族機能研究所代表。

医療法人社団學風会さいとうクリニック理事長。医学博士。日本嗜癮行動学会理事長、同学会誌『アディクションと家族』編集主幹。日本家族と子どもセラピスト学会理事長、特定非営利活動法人日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオン（通称・JUST）理事長。日本子ども虐待防止学会名誉会員。アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院名誉教授。

著書に『「家族」という名の孤独』『「家族」はこわい』『家族の間をさぐる』『自分の居場所のみつけかた』『家族パラドクス』『「家族神話」があなたをしぼる』『依存症と家族』『あかるく拒食 ゲンキに過食 リターンズ』（共著）『わたしのままでママをやる』（共著）など。訳書に『父—娘 近親姦』『シークレット・トラウマ』他。

近著に『「母」がいちばん危ない—“いい娘”にならない方法』（共著）。『「毒親」の子どもたちへ』など。



\*市民公開講座ⅠとⅡの両方参加の場合は2,500円

\*事前申し込み不要。当日受付にてお支払いください。

\*問い合わせ 大会事務局「萌クリニック」 ☎ 011-862-0020

大会当日の連絡先 ☎ 070-5604-4557